

青春～アオハル～

天童高等学校
1年次通信第25号
令和5年1月6日

「新年を迎えるにあたって」

新年あけましておめでとうございます。

昨年12月下旬の大雪では、交通機関等の遅れからみなさんの学校生活にも影響が出ましたが、年末年始にかけては比較的落ち着いた天候で、新しい年を無事に迎えることが出来たと思います。

本日から3月までの学校生活が再開します。この期間は、高校入試と重なることもあり、登校日数は約40日となります。1年次を最良な形で締めくくり、次年度につなげていくために大切にしたいことを3つ述べます。

1 日々の授業、自学自習に計画性を持ち、弛むことなく取り組むこと。

年度の後半から学習内容の質・量がさらに上がってきたこともありますが、後期中間考査の結果から、年次全体でみると全科目にわたってもうひと頑張りが必要な状況にあります。

現状の壁を乗り越えるためにも、2月下旬の後期期末考査までの約2か月を1つのスパンととらえ、日々の授業に真剣に臨むとともに、その後の復習（特に苦手科目）や課題の提出、さらには得意科目の発展的な学習等に対し、計画的に弛むことなく取り組んでください。

2 生徒会活動、部活動等に対し、より一層積極的に取り組むこと。

生徒会活動や部活動は、同年次はもちろん異年次との交流の中で、同じ目標を持つ者同士が切磋琢磨することで、望ましい人間関係の構築や達成感を得ることができる大変意義のある活動と言えます。

また、同時にこれからの社会の中で生きるために必要とされる、正しい判断力や責任感など、様々な能力・態度も身に付くはずですが、次年度は活動の中で上級生を支え、下級生を引っ張る中堅的な立場となります。1年次生として残された期間の中で、より一層積極的に取り組むことで、自身の人間性をぜひ磨いてください。

3 日々の健康管理に努め、高校生として確かな生活習慣を身に付けること。

この冬は、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が心配されています。

私たちを取り巻く環境は依然として厳しい中ではありますが、健康を第一に、元気に登校することが大切です。

みなさん一人一人を人間として成長させていく鍵、それは日々の授業を中心とする学校生活にあります。その点を深く認識し、各自が心と体の自己管理に努め、高校生として確かな生活習慣を身に付けるようにしてください。

年次主任